

問1 中国の遺跡から出土した、白く平らな骨の表面に、直線で構成された細かな記号が多数刻まれている資料があります。この資料が作成された背景や特徴について述べた文として、正しいものはどれか次の中から選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。
2. 周の時代に、役人が広大な領土を管理するための法律を粘土板に刻んだ。
3. 秦の始皇帝が、全国で異なる文字が使われないよう、竹簡に統一した文字を記した。
4. 漢の時代に、シルクロードを通じて伝わった西方文明の文字を模写した。

問2 古代中国の歴史に関する記述のうち、当時の政治の仕組みと文字の関わりについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 大阪公立入試 類似）

1. 殷王朝の王は占いの結果を亀の甲羅などに刻ませ、その神意に基づいて政治を行った。
2. 秦の始皇帝は、各地でバラバラだった甲骨文字を統一し、中央集権体制を整えた。
3. 漢の時代に紙が発明されたことで、それまで骨に刻まれていた文字はすべて廃止された。
4. 周の時代には、青銅器に刻まれた文字が占いの道具として一般庶民の間で普及した。

問3 奈良時代の日本に、西方のペルシアやインドなどの影響を受けた文化や工芸品がもたらされた背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2014年 沖縄公立入試 類似）

1. 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。
2. 倭の五王が中国の南朝へ使いを送ったことで、東南アジアの島々を経由する「海の道」の貿易が活発になり、工芸品が伝わった。
3. 勘合貿易の開始によって、明の文化が琉球王国を経由して平城京に運ばれ、正倉院のような建築物に収められるようになった。
4. 朝鮮半島での白村江の戦いに勝利した際、大陸から多くの技術者や文化人が日本に渡来し、西方の高度な工芸技術を伝えた。

問4 ティグリス川とユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明において、粘土板に刻んで使用された文字と、月の満ち欠けに基づき作られた暦の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2021年 徳島公立入試 類似）

1. くさび形文字と太陰暦
2. 象形文字（ヒエログリフ）と太陽暦
3. 甲骨文字と太陰太陽暦
4. アルファベットと太陽暦

問5 アフリカ大陸の北東部、地中海に注ぐ大河の流域で発展した古代文明について、この大河の名前と、この文明で使われていた文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 茨城公立入試 類似）

1. ナイル川 — 象形文字
2. ナイル川 — 楔形文字
3. ティグリス・ユーフラテス川 — 象形文字
4. ティグリス・ユーフラテス川 — 楔形文字

問6 紀元前5世紀頃の世界各地の統治形態を比較したとき、当時のギリシャにおける状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 有力な王や皇帝が広大な領土を一括して支配する中央集権的な国家が形成されていた。
2. ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。
3. ピラミッドを建設した王のように、神の化身としての絶対的な権力を持つ個人による統治が主流であった。
4. 万里の長城などの大規模な土木作業を国家の総力で指揮する、強力な皇帝による統治が行われていた。

問7 西アジアを流れるチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えた、世界最古といわれる文明の名称と、その文明で発明され粘土板に刻んで使用された文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 大阪公立入試 類似）

1. メソポタミア文明 — くさび形文字
2. エジプト文明 — 象形文字（ヒエログリフ）
3. インダス文明 — インダス文字
4. 中国文明 — 甲骨文字

問8 紀元前16世紀ごろに中国の黄河流域で栄えた殷王朝では、亀の甲羅や動物の骨に鋭い道具で文字を刻み、政治の重要な事柄を決定していました。現在の漢字の起源とされるこの文字を何といいますか。（2017年 大阪公立入試 類似）

1. 甲骨文字
2. 金文
3. 楔形文字
4. 象形文字

問9 漢の時代に行われた対外政策と、その影響について述べた文として正しいものはどれか。（2024年 和歌山公立入試 類似）

1. 西方への交易路であるシルクロードが開かれ、インドから仏教が伝来した。
2. 周辺諸国との戦いに備え、初めて万里の長城を築き、防衛体制を固めた。
3. 文字を甲骨文字に統一することで、周辺諸国との外交交渉を有利に進めた。
4. 貨幣や重さの単位を統一し、中央アジアの諸国と共通の経済圏を構築した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。	殷の時代は神権政治が行われており、戦争や祭祀、農作物の収穫などの重要な事柄はすべて占いによって決められていました。出土した骨に刻まれている直線的な記号は、占いという宗教的な行為を記録するための甲骨文字であり、当時の王権が宗教的な権威に基づいていたことを裏付ける貴重な史料となっています。
問2	答え 1 殷王朝の王は占いの結果を亀の甲羅などに刻ませ、その神意に基づいて政治を行った。	古代の殷王朝では、王は宗教的な権威を背景に政治を行う「神権政治」を展開していました。王が占いによって神の意思を確認し、その内容を記録したものが甲骨文字です。これは単なる記録媒体ではなく、王の支配の正当性を示す重要な役割を担っていました。後に秦の始皇帝が統一したのは文字の書体（小篆など）であり、甲骨文字そのものではありません。
問3	答え 1 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。	奈良時代、日本は唐の進んだ律令制度や文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐の都である長安は、シルクロードを通じて世界各地から人や物が集まる国際都市でした。そこで育まれた国際的な文化（唐文化）が、遣唐使によって日本に直接もたらされたため、正倉院に代表されるような西方の香り漂う工芸品が日本に残ることとなりました。他の選択肢にある「倭の五王」は古墳時代、「勘合貿易」は室町時代、「白村江の戦い」は日本が敗北した出来事であり、時代背景や事実関係が異なります。
問4	答え 1 くさび形文字と太陰暦	現在のイラク付近を流れるティグリス川・ユーフラテス川の流域では、紀元前3000年ごろからメソポタミア文明が発達しました。この文明では、葦の茎などを削ったペンで粘土板に「くさび形文字」を刻んだほか、月の満ち欠けの周期を基準とした「太陰暦」が用いられました。また、円を360度としたり、時間を60分・60秒で区切ったりする「六十進法」が考案されたことも大きな特徴です。
問5	答え 1 ナイル川 — 象形文字	アフリカ北東部を流れるナイル川の定期的な氾濫は肥沃な土壌をもたらし、エジプト文明の発展を支えました。この文明では、王（ファラオ）の権威を誇示したり記録を残したりするために、ヒエログリフとも呼ばれる「象形文字」が使われました。楔形文字は、メソポタミア文明で使用された文字です。
問6	答え 2 ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。	紀元前5世紀頃のギリシャは、エジプトや後に登場する秦・ローマ帝国のような大規模な統一国家ではなく、「ポリス」と呼ばれる自立した都市国家が集まって構成されていました。アテネやスパルタといった各ポリスは独自の統治を行っており、特にアテネでは市民による民主政が発達するなど、広域を支配する君主制とは異なる政治文化を持っていました。
問7	答え 1 メソポタミア文明 — くさび形文字	現在のイラク付近を流れるチグリス川とユーフラテス川の間に広がる地域では、肥沃な土地を利用して農耕が始まり、メソポタミア文明が発展しました。この文明では、川の周辺で得られる粘土を板状にし、尖った棒などで文字を刻み込む「くさび形文字」が発明され、商業や法律の記録に使用されました。
問8	答え 1 甲骨文字	殷王朝では、王が国家の重要な方針を決める際に、亀の甲羅や牛の骨を焼いてそのひび割れの形を見ることで神の意志を問う「占い」を行っていました。その結果を記録するために刻まれた文字が甲骨文字であり、これがのちの漢字の原型となりました。動物の骨や亀の甲羅（甲）を用いたことが名称の由来です。
問9	答え 1 西方への交易路であるシルクロードが開かれ、インドから仏教が伝来した。	漢（前漢）の武帝の時代に、西域へ張騫が派遣されたことをきっかけとして、西方との交易路であるシルクロード（絹の道）が整いました。この道を通じて、中国の絹が西方へ運ばれる一方で、インドからは仏教が伝わるなど、東西の文化交流が活発に行われました。